

## - 家庭菜園で見られる蟲たち -

### 〔ダイコンサルハムシ〕

秋になると体長が4～5mmの小さな青藍色の半球形をしたダイコンサルハムシがアブラナ科の野菜によく見られます。捕まえようとすると、足を縮めて丸くなり、地面に転がり落ちて土の中に隠れてしまいます。運よく捕まえても体はすごく硬く、指でひねりつぶすのはちょっと無理なようです。

ダイコンサルハムシは成虫、幼虫とも作物の葉部を加害し、多くの場合は集団となって葉を網目状に食い荒らします。幼苗期に多発すると、作物が枯死してしまうこともしばしばあります。成虫で越冬しますが春から夏にはほとんど活動せず、秋になってから活動を始めるため、秋まきのハクサイやダイコン、ツケナ類に被害が多く見られます。比較的低温にも強く、暖かい日には真冬でも作物を加害します。

彼らは後ろ翅が無く、飛ぶことが出来ないので、周辺の雑草から歩いて移動してきます。したがって、ほ場周辺の雑草を除去することにより、被害はかなり抑えることができます。枯れ草の下などにも潜んでいることが多いので、刈り取った草はほ場内や周辺に放置しないようにすることが大事です。



サルハムシの「サル」は願掛けや魔除けに使われる庚申さんのお使いの「くくり猿」に由来しています。古人はそのきらきりと輝く丸い姿からくくり猿を連想したようですが、このサルハムシも知らないうちにどこかで我々のことを助けてくれているのかもしれませんが。(資料提供 県立農林水産技術総合センター淡路農業技術センター農業部 二井清友)